

「A型事業所好事例報告フォーラム」 in 名古屋  
2019年8月2日

# A型事業所認定制度について

岩田克彦

(一社)ダイバーシティ就労支援機構 代表理事  
(全Aネット顧問)

(iwata@jodes.or.jp)

# 認定制度の必要性

- 1) A型事業所の就労については、  
まだまだ厳しい目が向けられている。
- 2) A型事業所及び全Aネットは、A型事業所の  
就労内容の改善に向け、自分たちの手で  
積極的に取り組む必要がある。
- 3) 分かりやすく参考にしやすい好事例集の  
作成とともに、社会的評価に耐えうる認定  
制度の早期実現が求められている。

# 厚生労働大臣の認定制度

## ○ユースエール認定

若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を認定。

## ○安全衛生優良企業認定

労働者の安全・健康確保対策に積極的に取り組み、高い安全衛生水準を維持・改善している企業を認定。

## ○えるぼし認定

女性活躍行動計画を策定した事業主で、基準を満たし、女性の活躍推進の取組状況が優良な企業を認定。

## ○くるみん認定

次世代育成支援行動計画を策定し、目標を達成し一定基準を満たす企業を「子育てサポート企業」として認定。

# 認定事業所の特典

○認定書の発行




○全Aネットホームページでの情報発信  
(事業所・取り組み内容の紹介・公表)

○認定マークの制定？

・パンフレット、ホームページ、名刺等に  
使用可能。

# 「えるぼし認定」 女性活躍推進法に基づく認定制度

## 【認定マーク】

1段階目	2段階目	3段階目
		

# A型事業所の評価基準(案)

	条件	選定項目	項目についての選定条件
応募条件	1	就労事業収支	事業収益/ (利用者賃金+事業経費) $\geq 0.8$
	2	平均月額賃金	全国平均 本調査73,374円 $\times 0.8$ =58,699.2円以上)
	3	労働時間について	週平均30時間以上が30%
書類審査等	4	就業規則・給与規定	※書類審査、および 適性検査の評価基準の参考 とする。
	5	能力開発・能力向上への取り組み	
	6	雇用保険加入状況	
	7	社会保険加入状況	
	8	減額特例制度の適用状況	
	9	常勤職員の年平均職員給与	
	10	就労移行の実績	
	11	重度障害者の受入れ(年金1級)	
	12	精神障害者の受入れ人数割合	
	13	研修会への参加状況	

# A型事業所質的評価セルフチェック表 (レーダーチャート、事業所全体平均)

一般就労・社会的  
包摂への取組み  
領域

一般就労への移行・社会的包摂

事業運営の健全性

健全な事業  
運営領域

ワーク・ライフ・バランス

100

80

60

40

20

0

所得・能力開発

労働者の権利

経営に対する社会的責任

ディーセントワーク領域

— プレ調査平均値

(注) A型事業所質的評価セルフチェック表とは、事業所の取組み内容に対する評価項目を6つの分野に分け、レーダーチャートにより、6分野のバランスで自分の事業所の特徴が判断できるようにしたものである。

# 今後のスケジュール(案)

1. 審査委員会の設置
2. 認定制度要綱、評価基準、審査申請書、事業所調査票等の確定
3. 認定審査申請の募集
4. 申請資料の精査、ヒアリング
5. 認定事業所の決定
6. 認定証の授与(全Aネットの年次総会?)



# 日本財団WORK! DIVERSITY (日本財団一億総活躍計画)

計画年度 2018～22年度

○「働きづらさを抱える多様な人々が働き始める、より良好な労働環境で働く」ことが可能な社会をめざす。

- ① ダイバーシティ就労研究プラットフォームでの検討、提言
- ② 全国でのモデル事業の実施  
(2020年度、2021年度)
- ③ 社会制度化を目指す。

# ダイバーシティ(多様性)就労とは？

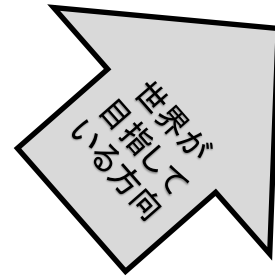
1. 保護就労 ～ サポート付就労  
～ 一般就労 と

「多様な働き方」で働く。

2. 多様な働きづらい方々が一緒に働く。

3. 労働行政、厚生行政が協同して、  
多様な形で支援する。

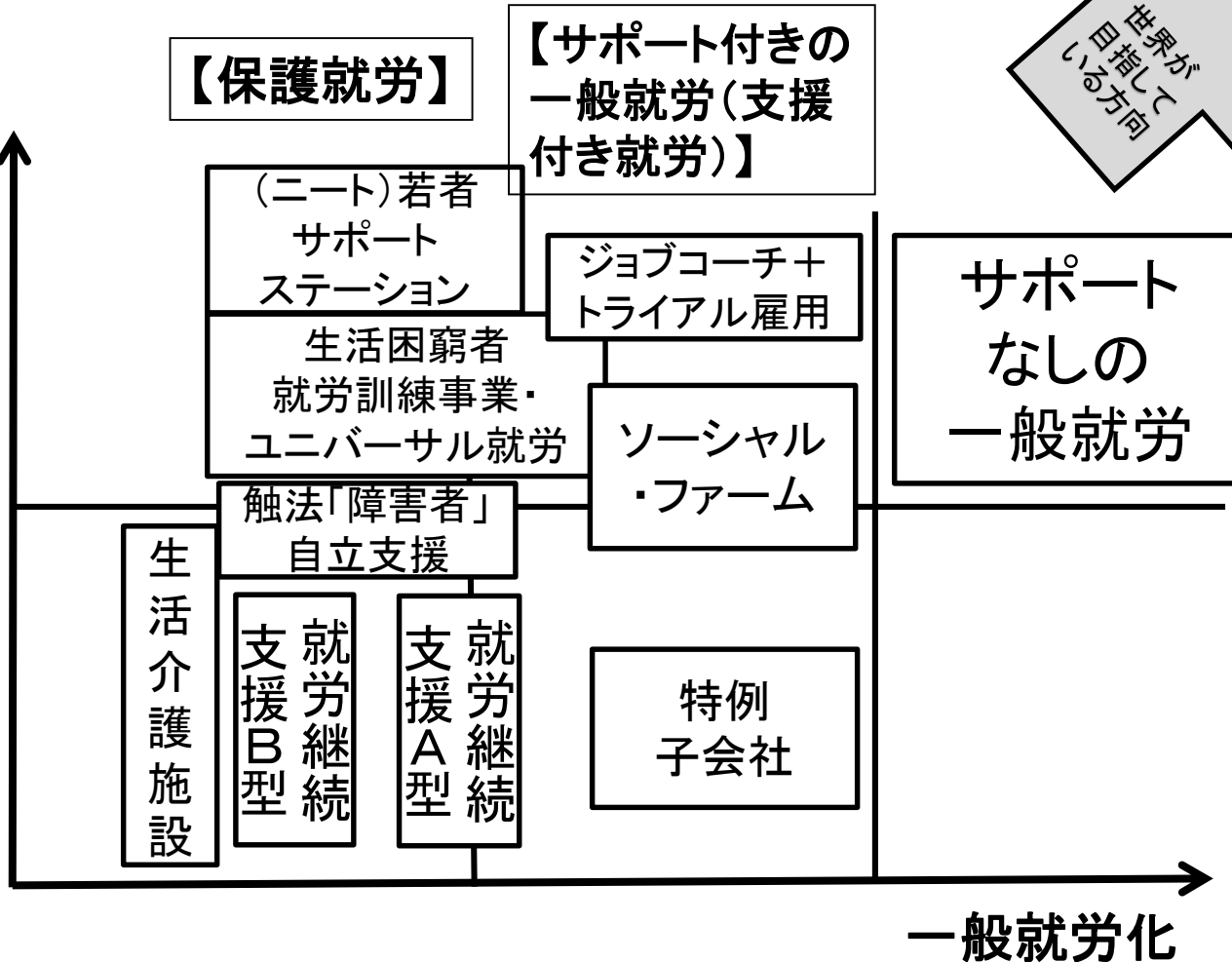
# 各就労類型の位置関係



対象者の拡大

(障害者以外を  
含む)

(障害者のみか  
大部分が障害者)



# 現在の日本で求められること

## ○世界に例を見ない高齢社会 への突入

⇒ 高齢者、女性、障害者、そして、  
それ以外の多くの働きたくても  
働きづらい方々の能力を最大限  
活かすこと

# 全先進国共通に求められる社会戦略

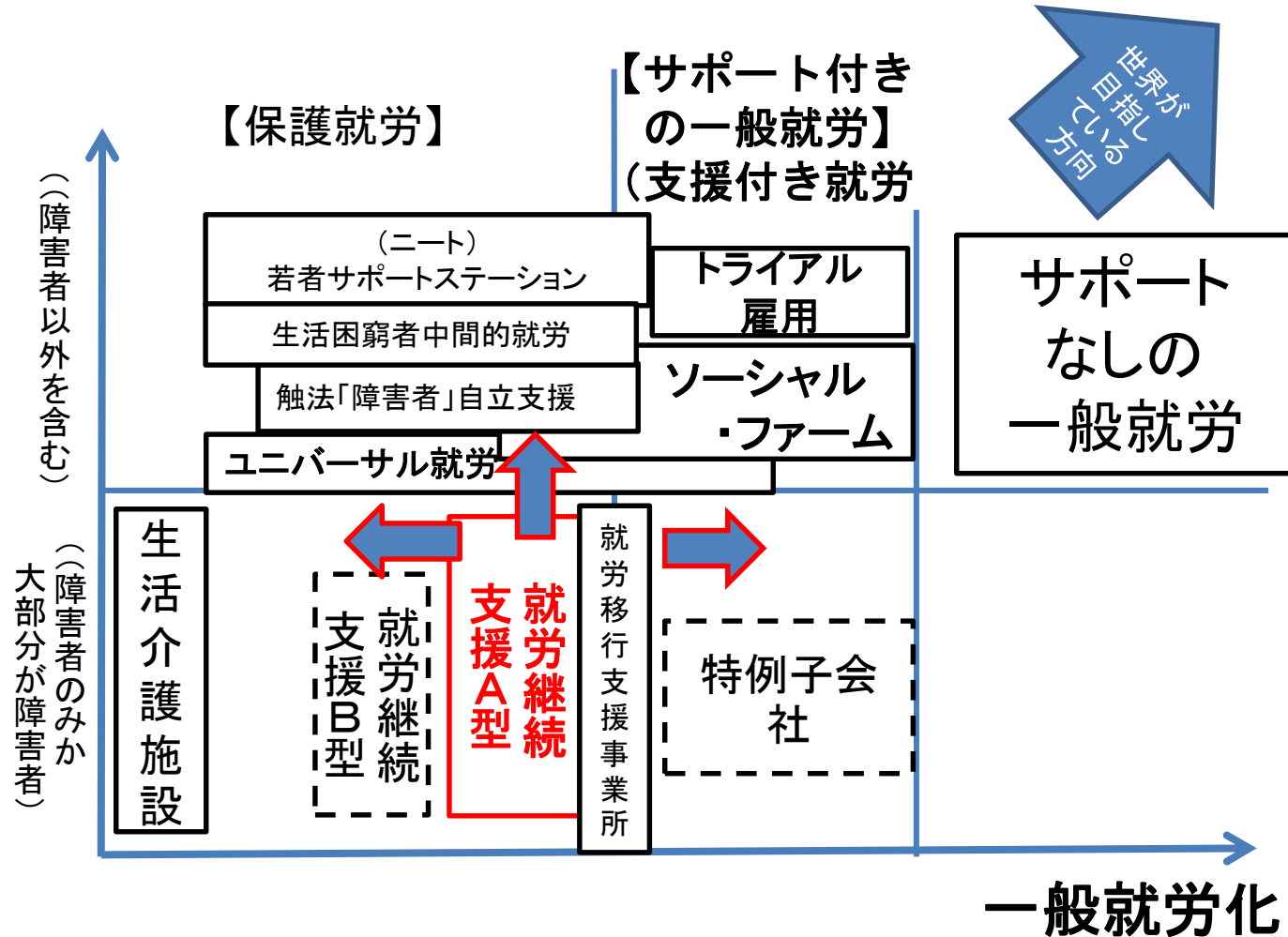
1. 働きづらさを抱える人々の生活の質  
(QOL:クオリティ・オブ・ライフ)を高める。
2. 多くの先進国に共通する労働力不足  
の解消に資する。
3. 社会保障費の増加抑制につながる。

# ダイバーシティ就労研究プラットフォーム

1. 全体構想の構築
2. 経済、財政、社会保障収支、労働需給  
バランスとの関連検討
3. 海外状況の整理
4. 働きづらさ類型別の支援方法の明確化

# 各就労類型の位置関係 (A型事業所に期待！！)

対象者の拡大



(注)「保護就労」、「支援付き就労」の分野には、その他、「協同労働」等、多様な形態がある。

# 2つのHP

○ プロジェクト内容が一目で

⇒ 日本財団

ダイバーシティ就労プロジェクト

「WORK！ DIVERSITY」ウェブサイト

<https://work-diversity.com>

○ 細かな情報

⇒ (一社)ダイバーシティ就労支援機構

<https://jodes.or.jp/>